

日光沢温泉



鬼怒川



鬼怒川

加仁湯温泉



露天風呂が埋没



もっと知りたい？

奥鬼怒

日光沢温泉の被害

◆昭和41年(1966)の災害

昭和41年9月の台風26号による豪雨は、100年に一度の確率に匹敵するものでした。台風による集中豪雨のため、大谷川、鬼怒川とも支流を含めて大洪水となり、特に大谷川流域では時間雨量50mm以上の豪雨域が3時間以上にわたって停滞し、男体山の大雑から土砂が流出、稲荷川などでも崩壊、土石流が発生、満砂していなかった砂防ダムが満砂し、一部損壊などの被害がありました。この豪雨により栃木県全県に被害が広がり、死者12人、家屋全壊167戸、半壊588戸、床上浸水363戸、床下浸水6499戸、山崩れ・崖崩れ88箇所を記録しました。また、奥鬼怒温泉郷日光沢温泉（旧栗山村）で土石流被害、三依で孤立が発生しました。

◆鬼怒川上流域直轄砂防堰堤

鬼怒川流域は、急峻な地形と脆弱な地質からなり、とくに上流右岸側は日光火山群を有し荒廃が顕著となっています。豪雨や冬期の凍結融解作用による土砂生産もあることから、砂防堰堤群の整備を進めています。



八丁掘沢砂防堰堤



奥鬼怒第3砂防堰堤



日光沢温泉へ行くなら

■電車・バス：
東武線鬼怒川温泉駅から
市営バス女夫淵温泉行き
終点下車